

ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン

運用報告書（全体版）

第64期（決算日 2019年12月16日）

第65期（決算日 2020年 3月16日）

（作成対象期間 2019年9月18日～2020年3月16日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国のリート（不動産投資信託）に投資し、東京証券取引所が算出・公表する「東証ＲＥＩＴ指数」（配当込み）に連動する投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

ＴＥＬ ０１２０－１０６２１２

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／不動産投信（リート）／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	東京証券取引所が算出・公表する「東証ＲＥＩＴ指数」（配当込み）に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンドの受益証券
	ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。	

最近10期の運用実績

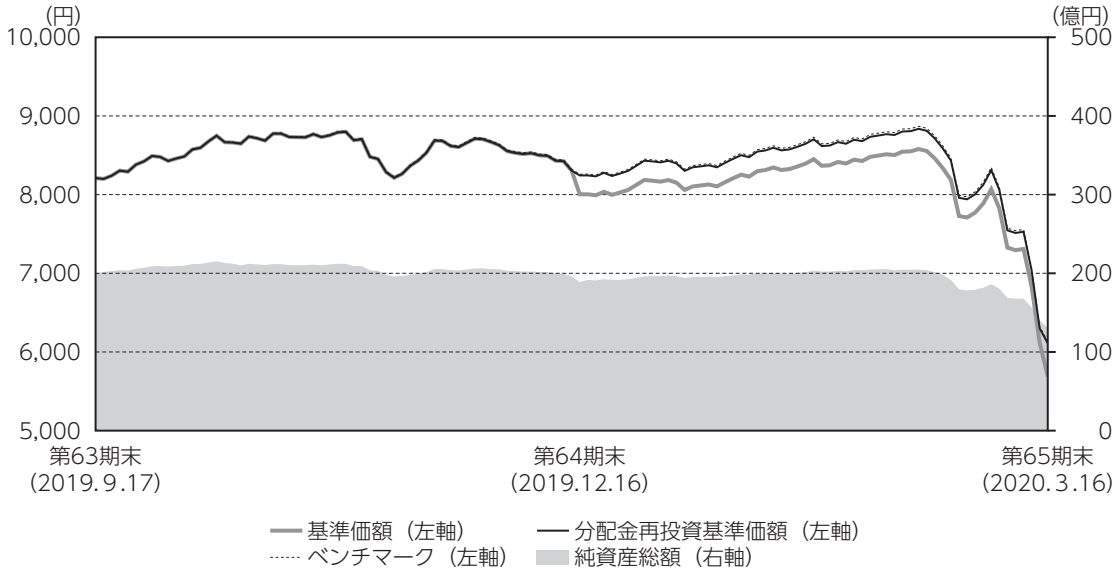
決 算 期	基 準 価 額			東証ＲＥＩＴ指数(配当込み)		投資信託証券 組 入 比 率	不動産投信 指 数 先 物 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	(ベンチマーク)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
56期末 (2017年12月15日)	7,645	240	1.0	3,204.00	1.2	98.5	1.4	23,152
57期末 (2018年 3 月15日)	7,544	240	1.8	3,269.20	2.0	98.2	1.6	22,335
58期末 (2018年 6 月15日)	7,589	240	3.8	3,398.25	3.9	98.5	1.5	21,780
59期末 (2018年 9 月18日)	7,487	240	1.8	3,467.41	2.0	98.1	1.5	20,520
60期末 (2018年12月17日)	7,549	240	4.0	3,615.41	4.3	98.4	1.4	19,440
61期末 (2019年 3 月15日)	7,639	240	4.4	3,782.23	4.6	98.4	1.5	19,028
62期末 (2019年 6 月17日)	7,688	240	3.8	3,934.65	4.0	98.4	1.4	19,575
63期末 (2019年 9 月17日)	8,210	240	9.9	4,334.17	10.2	100.6	2.0	19,941
64期末 (2019年12月16日)	8,004	240	0.4	4,360.66	0.6	100.2	1.8	18,882
65期末 (2020年 3 月16日)	5,692	240	△25.9	3,237.59	△25.8	98.9	2.9	13,056

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 3) 投資信託証券および不動産投信指数先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 4) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、第63期末の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

*ベンチマークは東証ＲＥＩＴ指数（配当込み）です。

■基準価額・騰落率

第64期首：8,210円

第65期末：5,692円（既払分配金480円）

騰 落 率：△25.6％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ベンチマーク（東証ＲＥＩＴ指数（配当込み））の動きに連動した投資成果をめざした運用を行った結果、新型コロナウイルスの感染拡大により市場がリスク回避に転じたことを背景に国内リート市況が下落し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		東証ＲＥＩＴ指数(配当込み)		投資信託証券 組 入 比 率	不動産投信 指 数 先 物 率 比
			騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
第64期	(期首) 2019年 9 月17日	円 8,210	% －	4,334.17	% －	% 100.6	% 2.0
	9 月末	8,479	3.3	4,477.77	3.3	98.0	1.9
	10月末	8,753	6.6	4,625.77	6.7	98.1	1.8
	11月末	8,669	5.6	4,584.30	5.8	98.1	1.8
	(期末) 2019年12月16日	8,244	0.4	4,360.66	0.6	100.2	1.8
第65期	(期首) 2019年12月16日	8,004	－	4,360.66	－	100.2	1.8
	12月末	8,165	2.0	4,450.34	2.1	98.2	1.7
	2020年 1 月末	8,450	5.6	4,608.85	5.7	98.0	1.7
	2 月末	7,728	△ 3.4	4,218.40	△ 3.3	98.2	1.8
	(期末) 2020年 3 月16日	5,932	△25.9	3,237.59	△25.8	98.9	2.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

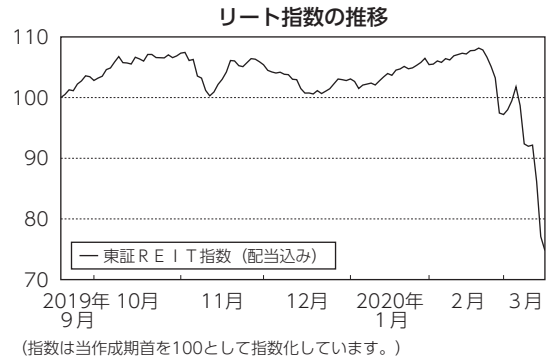
投資環境について

(2019.9.18～2020.3.16)

■国内リート市況

国内リート市況は下落しました。

国内リート市況は、当作成期首より上昇しました。その後は、米中通商協議の進展期待などを背景に世界的に長期金利や株式が上昇するなど、市場がリスク選好に転じる中で大きく下落する場面がありましたが、長期金利の上昇の落ち着きとともに相対的に高い配当利回りに再び注目が集まり、国内リート市場は再び上昇に転じました。2020年2月には、新型コロナウイルスの感染拡大により市場がリスク回避に転じ、再び世界的に長期金利が低下したことで、国内リート市場はさらに上昇しました。しかし、2月下旬に入り世界景気の減速懸念により投資家のリスク回避姿勢がさらに強まると、大幅に下落しました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド」の受益証券組入比率を高位に維持します。

■ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

当ファンドの運用の基本方針に基づき、ベンチマーク（東証ＲＥＩＴ指数（配当込み））の動きに連動した投資成果をめざした運用を継続してまいります。

ポートフォリオについて

(2019.9.18～2020.3.16)

■当ファンド

国内リートへの投資は、「ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド」の受益証券を組み入れることによって行いました。なお、当作成期末のリート実質組入比率（不動産投信指数先物を含む。）は101.9%となっておりますが、翌営業日計上のマザーファンドの解約金額を考慮したリート実質組入比率は100%程度となっております。

■ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

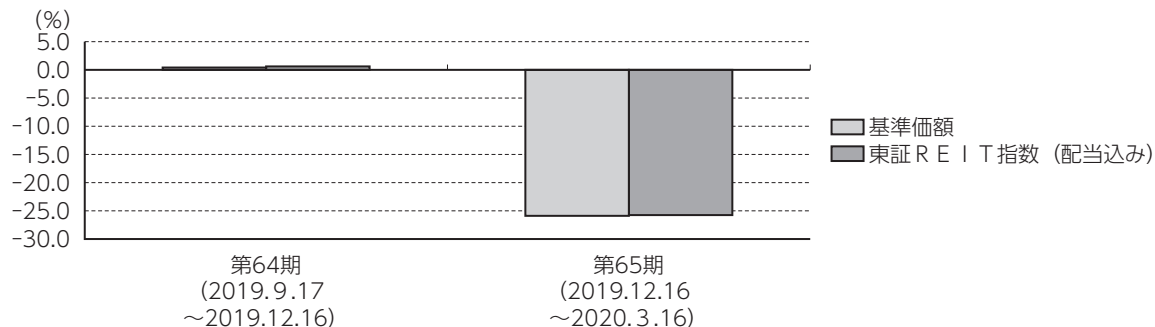
ベンチマークの動きを反映した投資成果をめざして、おおむね時価総額構成比に基づいたポートフォリオを構築しました。リート実質組入比率（不動産投信指数先物を含む。）については、当作成期を通じて99～100%程度としました。

ベンチマークとの差異について

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。

当作成期のベンチマークの騰落率は△25.3%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は△25.6%となりました。

ポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との違い、先物取引の影響、信託報酬、売買等のコストが控除されたことが差異の要因となりました。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項 目		第64期	第65期
		2019年9月18日 ～2019年12月16日	2019年12月17日 ～2020年3月16日
当期分配金（税込み）	（円）	240	240
対基準価額比率	（％）	2.91	4.05
当期の収益	（円）	32	83
当期の収益以外	（円）	207	156
翌期繰越分配対象額	（円）	4,476	4,322

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項 目	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 32.79円	✓ 83.85円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,189.24	4,220.93
(d) 分配準備積立金	✓ 494.43	✓ 257.24
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,716.46	4,562.03
(f) 分配金	240.00	240.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	4,476.46	4,322.03

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド」の受益証券組入比率を高位に維持します。

■ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

当ファンドの運用の基本方針に基づき、ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を継続してまいります。

1 万口当りの費用の明細

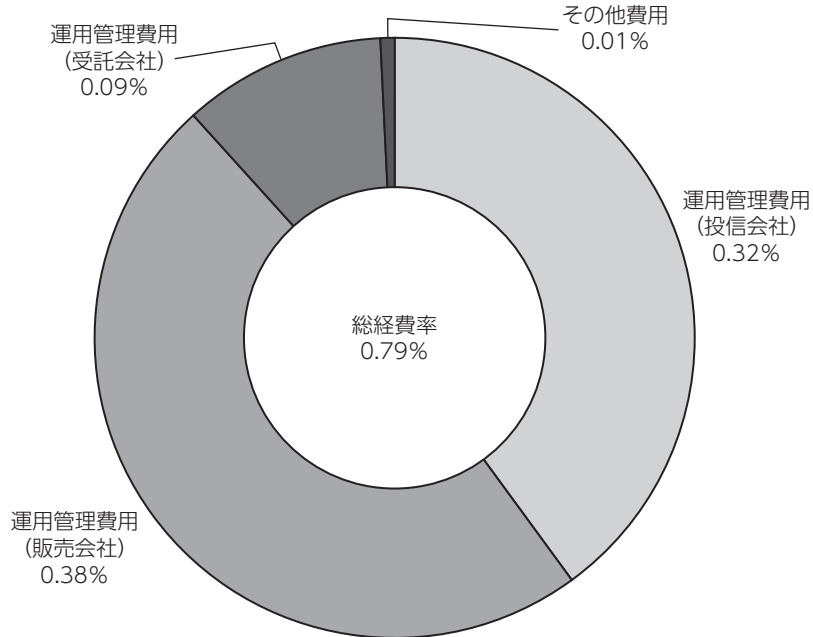
項 目	第64期～第65期 (2019.9.18～2020.3.16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	32円	0.391%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,314円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.157)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.190)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(4)	(0.043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.001	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	33	0.394	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.79%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

決 算 期	第 64 期 ～ 第 65 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワＪ－ＲＥＩＴ マザーファンド	378,389	1,254,811	1,096,965	3,622,916

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

決 算 期	第 64 期 ～ 第 65 期					
	第 64 期			第 65 期		
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
投資信託証券	百万円 83,750	百万円 531	% 0.6	百万円 31,797	百万円 8,799	% 27.7
不動産投信指数 先物取引	29,208	8,958	30.7	25,568	5,176	20.2
コール・ローン	660,604	－	－	－	－	－

(注) 平均保有割合5.3%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 利害関係人の発行する有価証券等

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

種 類	第 64 期 ～ 第 65 期		
	ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド		
	買 付 額	売 付 額	作成期末保有額
投資信託証券	百万円 1,488	百万円 623	百万円 5,233

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(4) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となつて発行される有価証券

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

種 類	第 64 期 ～ 第 65 期	
	ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド	
	買	付 額
投資信託証券	百万円 2,414	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(5) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

項 目	第64期～第65期
売買委託手数料総額 (A)	161千円
うち利害関係人への支払額 (B)	42千円
(B)／(A)	26.4%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券、大和証券オフィス投資法人、サムティ・レジデンシャル投資法人です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第63期末	第 65 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド	6,381,574	5,662,998	13,597,426

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月16日現在

項 目	第 65 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド	13,597,426	99.2
コール・ローン等、その他	113,952	0.8
投資信託財産総額	13,711,378	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年12月16日)、(2020年3月16日)現在

項 目	第 64 期 末	第 65 期 末
(A) 資産	19,665,385,822円	13,711,378,476円
コール・ローン等	118,947,463	104,252,022
ダイワＪ－ＲＥＩＴ マザーファンド(評価額)	19,437,160,359	13,597,426,454
未収入金	109,278,000	9,700,000
(B) 負債	782,540,497	654,566,294
未払収益分配金	566,229,107	550,496,017
未払解約金	175,953,630	65,446,048
未払信託報酬	40,078,753	38,080,812
その他未払費用	279,007	543,417
(C) 純資産総額(A－B)	18,882,845,325	13,056,812,182
元本	23,592,879,490	22,937,334,045
次期繰越損益金	△ 4,710,034,165	△ 9,880,521,863
(D) 受益権総口数	23,592,879,490口	22,937,334,045口
1万口当り基準価額(C/D)	8,004円	5,692円

*第63期末における元本額は24,288,697,431円、当作成期間(第64期～第65期)中における追加設定元本額は5,235,085,495円、同解約元本額は6,586,448,881円です。

*第65期末の計算口数当りの純資産額は5,692円です。

*第65期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は9,880,521,863円です。

■損益の状況

第64期 自2019年9月18日 至2019年12月16日
第65期 自2019年12月17日 至2020年3月16日

項 目	第 64 期	第 65 期
(A) 配当等収益	△ 10,047円	△ 8,849円
受取利息	940	705
支払利息	△ 10,987	△ 9,554
(B) 有価証券売買損益	54,471,805	△ 4,733,603,250
売買益	150,021,263	79,231,830
売買損	△ 95,549,458	△ 4,812,835,080
(C) 信託報酬等	△ 40,357,830	△ 38,345,222
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,103,928	△ 4,771,957,321
(E) 前期繰越損益金	1,166,505,795	534,960,764
(F) 追加信託差損益金	△ 5,324,414,781	△ 5,093,029,289
(配当等相当額)	(9,883,633,325)	(9,681,694,570)
(売買損益相当額)	(△15,208,048,106)	(△14,774,723,859)
(G) 合計(D+E+F)	△ 4,143,805,058	△ 9,330,025,846
(H) 収益分配金	△ 566,229,107	△ 550,496,017
次期繰越損益金(G+H)	△ 4,710,034,165	△ 9,880,521,863
追加信託差損益金	△ 5,324,414,781	△ 5,093,029,289
(配当等相当額)	(9,883,633,325)	(9,681,694,570)
(売買損益相当額)	(△15,208,048,106)	(△14,774,723,859)
分配準備積立金	677,648,388	231,890,049
繰越損益金	△ 63,267,772	△ 5,019,382,623

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第 64 期	第 65 期
(a) 経費控除後の配当等収益	77,371,700円	192,336,036円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	9,883,633,325	9,681,694,570
(d) 分配準備積立金	1,166,505,795	590,050,030
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	11,127,510,820	10,464,080,636
(f) 分配金	566,229,107	550,496,017
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	10,561,281,713	9,913,584,619
(h) 受益権総口数	23,592,879,490口	22,937,334,045口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 64 期	第 65 期
1 万 口 当 り 分 配 金	240円	240円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

運用報告書 第32期（決算日 2020年3月16日）

（作成対象期間 2019年9月18日～2020年3月16日）

ダイワＪ－ＲＥＩＴマザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

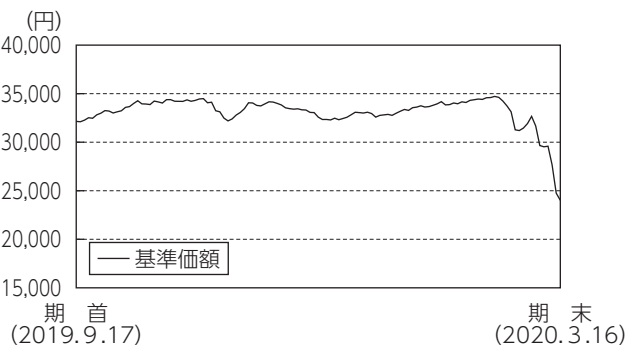
運 用 方 針	東京証券取引所が算出・公表する「東証ＲＥＩＴ指数」（配当込み）に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
投資信託証券組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		東証ＲＥＩＴ指数(配当込み)		投資信託証券先物組入比率	不動産投信指数先物比率
	円	騰落率	ベンチマーク	騰落率		
(期首)2019年 9月17日	32,146	% -	4,334.17	% -	97.8	1.9
9月末	33,208	3.3	4,477.77	3.3	98.1	1.9
10月末	34,305	6.7	4,625.77	6.7	98.1	1.8
11月末	33,997	5.8	4,584.30	5.8	98.2	1.8
12月末	33,004	2.7	4,450.34	2.7	98.2	1.7
2020年 1月末	34,177	6.3	4,608.85	6.3	98.0	1.7
2月末	31,276	△ 2.7	4,218.40	△ 2.7	98.2	1.8
(期末)2020年 3月16日	24,011	△25.3	3,237.59	△25.3	95.0	2.8

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。
上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注3) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：32,146円 期末：24,011円 騰落率：△25.3%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマーク（東証ＲＥＩＴ指数（配当込み））の動きに連動した投資成果をめざした運用を行った結果、新型コロナウイルスの感染拡大により市場がリスク回避に転じたことを背景に国内リート市況が下落し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○国内リート市況

国内リート市況は下落しました。
国内リート市況は、当作成期首より上昇しました。その後は、米中通商協議の進展期待などを背景に世界的に長期金利や株式が上昇するなど、市場がリスク選好に転じる中で大きく下落する場面がありました。長期金利の上昇の落ち着きとともに相対的に高い配当利回りに再び注目が集まり、国内リート市場は再び上昇に転じました。2020年2月には、新型コロナウイルスの感染拡大により市場がリスク回避に転じ、再び世界的に長期金利が低下したことで、国内リート市場はさらに上昇しました。しかし、2月下旬に入り世界景気の減速懸念により投資家のリスク回避姿勢がさらに強まると、大幅に下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用の基本方針に基づき、ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を継続してまいります。

◆ポートフォリオについて

ベンチマークの動きを反映した投資成果をめざして、おおむね時価総額構成比に基づいたポートフォリオを構築しました。リート実質組入比率（不動産投信指数先物を含む。）については、当作成期を通じて99～100%程度としました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は△25.3%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は△25.3%となりました。
ポートフォリオの騰落率と東証ＲＥＩＴ指数の騰落率の違い、先物取引の影響、売買等のコストが控除されたことが差異の要因となりました。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用の基本方針に基づき、ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を継続してまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション) (投資信託証券)	0円 (0) (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託証券

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
国内	437.793	83,750,669	189.727 ()	31,797,757 ()

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国内	不動産投信指数先物取引	百万円 29,208	百万円 25,568	百万円 －	百万円 －

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託証券

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	□ 数	金 額	平均単価	銘	柄	□ 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
日本ビルファンド		6.633	5,490,541	827,761	日本ビルファンド		3.161	2,459,494	778,074
ジャパンリアルエステイト		6.85	5,091,514	743,286	ジャパンリアルエステイト		3.264	2,287,990	700,977
野村不動産マスターＦ		25.387	4,844,542	190,827	野村不動産マスターＦ		10.425	1,709,212	163,953
日本プロロジスリート		12.324	3,682,562	298,812	日本プロロジスリート		4.829	1,359,522	281,532
大和ハウスリート投資法人		11.494	3,350,187	291,472	オリックス不動産投資		6.504	1,313,582	201,965
オリックス不動産投資		13.649	3,190,953	233,786	ユナイテッド・アーバン投資法人		7.327	1,245,542	169,993
ユナイテッド・アーバン投資法人		15.378	3,125,055	203,215	日本リートリアルファンド		6.169	1,228,456	199,133
日本リートリアルファンド		12.946	3,020,657	233,327	大和ハウスリート投資法人		3.95	1,063,479	269,235
アドバンス・レジデンス		7.195	2,496,460	346,971	G L P 投資法人		8.129	1,047,228	128,826
日本プライムリアルティ		4.941	2,423,272	490,441	アドバンス・レジデンス		3.096	972,603	314,148

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
不動産投信	千口	千円	%
エスコンジャパンリート	4.191	364,617	0.1
サンケイリアルエステート	4.994	438,473	0.2
ＳＯＳＩＬＡ物流リート投	7.677	773,073	0.3
日本アコモデーションファンド投資法人	11.45	6,263,150	2.2
MCUBS MidCity投資法人	44.209	3,227,257	1.1
森ヒルズリート	39.646	5,146,050	1.8
産業ファンド	44.378	5,764,702	2.0
アドバンス・レジデンス	32.683	8,834,214	3.0
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	22.481	3,228,271	1.1
ＡＰＩ投資法人	17.267	6,311,088	2.2
ＧＬＰ投資法人	85.825	9,397,837	3.2
コンフォリア・レジデンシャル	15.003	3,968,293	1.4
日本プロロジスリート	51.852	13,797,817	4.8
星野リゾート・リート	5.243	1,766,891	0.6
Ｏｎｅリート投資法人	5.371	1,319,654	0.5
イオンリート投資	37.188	3,547,735	1.2
ヒューリックリート投資法	29.305	4,005,993	1.4
日本リート投資法人	11.193	3,497,812	1.2
インベスコ・オフィス・Ｊリート	221.381	3,225,521	1.1
日本ヘルスケア投資法	1.671	268,863	0.1
積水ハウス・リート投資	100.754	6,438,180	2.2
トーセイ・リート投資法人	7.5	731,250	0.3
ケネディクス商業リート	13.309	2,299,795	0.8
ヘルスケア&メディカル投資	7.35	741,615	0.3
サムティ・レジデンシャル	6.898	540,803	0.2
野村不動産マスターＦ	111.244	13,849,878	4.8
いちごホテルリート投資	5.709	340,827	0.1
ラサールロジポート投資	32.038	4,039,991	1.4
スターアジア不動産投	11.436	938,895	0.3
マリモ地方創生リート	3.397	295,199	0.1
三井不ロジパーク	9.806	3,794,922	1.3
大江戸温泉リート	5.855	319,097	0.1
さくら総合リート	7.455	509,176	0.2
投資法人みらい	39.188	1,491,103	0.5
森トラスト・ホテルリート投	8.085	683,182	0.2
三菱地所物流ＲＥＩＴ	6.783	1,954,860	0.7
ＣＲＥロジスティクスファンド	6.479	662,801	0.2
ザイマックス・リート	5.002	454,181	0.2
タカラレーベン不動産投	9.779	748,093	0.3
伊藤忠アドバンスロジ	7.172	636,873	0.2
日本ビルファンド	33.369	23,024,610	7.9
ジャパンリアルエステイト	34.459	21,536,875	7.4
日本リテールファンド	65.127	9,684,384	3.3

フ ア ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
オリックス不動産投資	68.659	10,642,145	3.7
日本プライムリアルティ	22.646	7,654,348	2.6
プレミアム投資法人	31.124	3,230,671	1.1
東急リアル・エステート	23.103	2,989,528	1.0
グローバル・ワン不動産投資法人	23.928	2,325,801	0.8
ユナイテッド・アーバン投資法人	77.371	9,284,520	3.2
森トラスト総合リート	24.628	3,270,598	1.1
インヴィンシブル投資法人	151.151	4,513,368	1.6
フロンティア不動産投資	12.239	3,683,939	1.3
平和不動産リート	21.459	1,972,082	0.7
日本ロジスティクスファンド投資法人	22.515	4,678,617	1.6
福岡リート投資法人	17.821	1,938,924	0.7
ケネディクス・オフィス投資法人	10.66	6,225,440	2.1
いちごオフィスリート投資法人	26.682	2,019,827	0.7
大和証券オフィス投資法人	7.953	4,692,270	1.6
阪急阪神リート投資法人	15.565	1,808,653	0.6
スターツプロシード投資法人	5.366	886,999	0.3
大和ハウスリート投資法人	49.166	11,529,427	4.0
ジャパン・ホテル・リート投資法人	111.007	4,462,481	1.5
日本賃貸住宅投資法人	38.759	3,189,865	1.1
ジャパンエクセレント投資法人	31.874	3,901,377	1.3
合 計	□ 数、金 額 銘柄数<比率>	2,024,878 64銘柄	275,764,804 <95.0%>

※エスコンジャパンリート、サンケイリアルエステート、ＳＯＳＩＬＡ物流リート、産業ファンド、アドバンス・レジデンス、ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人、ＡＰＩ投資法人、ＧＬＰ投資法人、コンフォリア・レジデンシャル、日本プロロジスリート、Ｏｎｅリート投資法人、イオンリート投資、ヒューリックリート投資法人、日本ヘルスケア投資法人、積水ハウス・リート投資、トーセイ・リート投資法人、ケネディクス商業リート、サムティ・レジデンシャル、マリモ地方創生リート、三井不ロジパーク、三菱地所物流ＲＥＩＴ、ＣＲＥロジスティクスファンド、伊藤忠アドバンスロジ、オリックス不動産投資、日本プライムリアルティ、グローバル・ワン不動産投資法人、ユナイテッド・アーバン投資法人、フロンティア不動産投資、平和不動産リート、大和証券オフィス投資法人、大和ハウスリート投資法人、ジャパン・ホテル・リート投資法人、日本賃貸住宅投資法人につきましては、各ファンドで開示されている直近の有価証券報告書または有価証券届出書において、当社の利害関係人等（投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される法人等をいいます。）である大和証券、大和リアル・エステート・アセット・マネジメントが当該ファンドの運用会社または一般事務受託会社となっています。
 (注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
国 内	百万円 8,194	百万円 －
東証ＲＥＩＴ		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	275,764,804	94.3
コール・ローン等、その他	16,597,486	5.7
投資信託財産総額	292,362,290	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	293,498,367,514円
コール・ローン等	2,580,386,975
投資信託証券(評価額)	275,764,804,130
未収入金	8,019,642,011
未収配当金	4,512,762,898
差入委託証拠金	2,620,771,500
(B) 負債	3,159,599,400
未払金	1,412,978,400
未払解約金	543,646,000
差入委託証拠金代用有価証券	1,202,975,000
(C) 純資産総額(A－B)	290,338,768,114
元本	120,918,340,404
次期繰越損益金	169,420,427,710
(D) 受益権総口数	120,918,340,404口
1万口当り基準価額(C／D)	24,011円

* 期首における元本額は104,880,003,327円、当作成期間中における追加設定元本額は23,899,836,933円、同解約元本額は7,861,499,856円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン5,662,998,815円、ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）104,791,840,087円、ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン（年1回決算型）294,605,633円、ＤＣダイワ・ターゲットイヤー2050 632,670円、i F r e e Ｊ－ＲＥＩＴインデックス126,766,257円、i F r e e 8資産バランス747,087,142円、ＤＣ・ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン4,850,634,662円、ＤＣダイワ・ターゲットイヤー2020 2,400,263円、ＤＣダイワ・ターゲットイヤー2030 5,004,313円、ＤＣダイワ・ターゲットイヤー2040 2,230,516円、ダイワ・ノーロードＪ－ＲＥＩＴファンド86,817,638円、ダイワファンドラップＪ－ＲＥＩＴインデックス1,449,810,932円、ダイワＪ－ＲＥＩＴインデックス（ダイワSMA専用）1,431,060,162円、ダイワファンドラップオンラインＪ－ＲＥＩＴインデックス355,872,964円、ダイワ・インデックスセレクトＪ－ＲＥＩＴ1,110,578,350円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は24,011円です。

■損益の状況

当期 自2019年9月18日 至2020年3月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	6,953,065,250円
受取配当金	6,954,122,778
受取利息	9,625
その他収益金	292
支払利息	△ 1,067,445
(B) 有価証券売買損益	△105,826,004,248
売買益	563,985,248
売買損	△106,389,989,496
(C) 先物取引等損益	△ 1,970,135,910
取引益	495,865,210
取引損	△ 2,466,001,120
(D) その他費用	△ 2,879
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	△100,843,077,787
(F) 前期繰越損益金	232,267,935,574
(G) 解約差損益金	△ 17,674,067,144
(H) 追加信託差損益金	55,669,637,067
(I) 合計(E + F + G + H)	169,420,427,710
次期繰越損益金(I)	169,420,427,710

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。